

講 義 要 項

授業科目		小児疾病論		担当者	堀之内 兼一
区分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前/後
	1 単位	30 時間	講義・演習・DVD・その他		1 年次・前期
授 業 目 標	1. 小児が罹患しやすい代表的疾患について、病態生理・症状・検査・治療・処置を理解する。				
授 業 計 画	1. 小児科の特殊性 2. 染色体異常・先天異常、新生児期の疾患 3. 感染症 4. 神経・運動器疾患 5. 循環器疾患 6. 血液疾患と悪性新生物 7. 腎・泌尿器疾患と脱水 8. 皮膚疾患、癌疾患 9. 心の問題と事故・外傷 10. 児童虐待、耳鼻咽喉科疾患 11. 消化器疾患 12. 内分泌・代謝性疾患 13. 免疫・アレルギー・リウマチ性疾患、呼吸器疾患				
参 考 文 献 等	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学 (2), 小児臨床看護各論, 医学書院. 2. こどもの病気の地図帳, 講談社.				
評 価	1. 単位修得試験				
備 考	実務経験：医師として、豊富な知識・経験をもとに授業を行う。				